岸和田市立幼保連携型認定こども園　教育・保育カリキュラム

【全体的な計画】

教育・保育の基本	子どもの健全な心身の発達を図りつつ、生涯にわたる人格形成の基礎を培うものである。 ・人との関わりを通し、安心感、信頼感をもっていろいろな活動に取り組む体験を積み重ねること。 ・子どもの主体的な活動を促し乳幼児期にふさわしい生活が展開されるようにすること。 ・遊びを通しての指導を中心としてねらいが総合的に達成されるようにすること。 ・一人一人の特性や発達の過程に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにすること。	教育・保育目標	教育及び保育の生活を一体的に展開し、その中で心情・意欲・態度や生きる力の基礎を育成する。 （1）基本的な生活習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。 （2）人との関わりを大切にし、自主、自立及び協同の精神の芽生えを図ること。 （3）身近な環境、自然に対する興味、またそれらに対する正しい理解と思考力の芽生えを養うこと。 （4）自分の思いを言葉で表現し、相手の気持ちを理解しようとする力を育てること。 （5）様々な表現遊びに親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養うこと。 （6）心身の健康の確保及び増進を図ること。
めざす子ども像	○健康な子ども（体を十分動かし、心も体もしなやかでたくましい子ども）　○思いやりのある子ども（相手の気持ちを考え、思いやれる子ども）　○生き生きと意欲的に遊ぶ子ども（様々な環境に積極的に関わり、夢中になって遊ぶ子ども） ○友達の中で育ち合える子ども（違いを認め合い、人とのつながりを大切にする子ども）　○自分の思いを表現できる子ども（自信をもって、素直に表現する子ども）		

			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
		教育・保育目標	・ぐっすり眠り、よく食べ、よく遊べるよう一人一人の生活リズムを整える。 ・保育教諭等に安心して気持ちを寄せ、欲求や要求を表すことができる。 ・信頼関係の基礎を培い、快い生活リズムで過ごすことができる。	・保育教諭等と一緒に安心して過ごす中で、自分で選んだりやってみたいという自我を膨らませたりしていく。 ・保育教諭等に支えられて気持ちを切り替えたり、立ち直ろうとしたりする。 ・友達と共感する心地よさと自分でやってみたいという気持ちが芽生える。	・自分の思いを出そうとする。 ・自ら活動しようとする力を育てる。 ・友達に関心をもち、基本的生活習慣が心地よい感覚として身に付く。	・保育教諭等や友達と遊ぶ中で、自分の思いを言葉や行動で表現し、相手の思いにも気付いていく。	・集団の中で感じたことや思ったことを表現し、友達と一緒に協力しようとする。	・目標に向かって力を合わせて活動し、自主性や協調性を育む。 ・集団の中で一人一人が意欲的に活動し、友達と協力して新しいことに挑戦する。
		内　　容	配　　慮					
養護	生命の保持	・一人一人が、快適にかつ健康で安全に過ごせるようにするとともに、その生理的欲求が十分に満たされ、健康増進が積極的に図られるようにする。（総則第３.５-（１）） ・一人一人が安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるようにするとともに、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれるようにする。（総則第３.５-（２）） ねらい（①心情 ②意欲 ③態度）	・食事、睡眠、排泄など生理的欲求を満たし、気持ちよい生活を送られるようにする。	・食事、排泄、着替え等を自分でしようとするのを見守り、援助する。	・簡単な身の回りのことを自分でできるように見守る。	・基本的生活習慣を身に付けていけるように援助する。	・基本的な生活習慣が身に付き、見通しをもち、生活できるように促す。 ・気候や活動に応じて衣服の調節を自分で行う姿を見守る。	・自分の体を大切にし、基本的生活習慣を確立できるよう促す。 ・主体的、意欲的に生活が送れるようにする。
	情緒の安定		・子どもの欲求や気持ちを受け止められることで、心地よさを感じられるようにする。	・自分の気持ちを安心して出せるように保育教諭等との信頼関係を築く。	・子どもの思いを受け止める。 ・友達の中で安心して過ごし、自己主張できるように見守る。	・自分のしたいことや思いを表現できるように、子どもの気持ちをしっかりと受け止める。	・年長への期待をもち、いろいろな活動に意欲的に取り組めるようにする。 ・活動を通じて自信をもち、保育教諭等や友達との信頼関係を築けるようにする。	・友達同士で認め合い、みんなで達成感を味わえるような経験を重ねられるようにする。 ・ありのままの自分を受け止め、間違っても失敗してもやり直せるように見守る。
		ねらい（①心情 ②意欲 ③態度）	内　　容					
教育及び保育	健　康	①明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ②自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。	【保育目標：健やかにのびのび育つ】 ・よく食べ、よく遊び、よく眠り、２４時間の生活リズムの中で健康な体をつくる。 ・寝返り、はう、座る、立つ、伝い歩き、歩くなど、それぞれの発達段階に応じた遊びを楽しむ。	・歩行が確立し、生活や遊びの中で体を使う楽しさを知る。 ・散歩に出て、いろいろな道を歩く。	・歩く・走る・跳ぶなど、全身を使って遊ぶことを楽しむ。 ・生活の中で援助してもらいながら、自分でできたことに喜びを感じる。	・基本的生活習慣が身に付き、自分のことは自分でしようとする。 ・自分の体を動かすことを楽しみ、手指活動が巧みになる。 ・様々な遊具を使って楽しく遊ぶ。	・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ・細やかな動きや協応動作が可能になり、気持ちや体を調整しようとする。	・自分で自分の体を調整する力を身に付ける。 ・協応動作を充実させ、柔軟な動きをしようとする。
		・食育 ①安全・安心・おいしく・楽しく食べる。 ②食事のマナーを身に付ける。 ③栽培活動やクッキングを通して食に興味をもつ。	・離乳食などを通していろいろな味を知り、安心できる保育教諭等との関係の中で、楽しく意欲的に食べる。	・いろいろな味を知り、楽しく食べる。 ・スプーンを使って食べる。	・楽しい雰囲気で食べる。 ・おいしく食べる。 ・箸を使って食べる。	・いろいろな食材を知り、関心をもつ。	・食べることを通じて、命の大切さが分かる。 ・栽培や調理を通して自分たちで作って食べることを楽しむ。	・食べ物に関心を深め食事と身体の関係に興味をもつ。 ・収穫の喜びを知り、自分たちで作って食べることを楽しむ。
	人間関係	①幼保連携型認定こども園の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ②身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。 ③社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	【保育目標：身近な人と気持ちが通じ合う】 ・保育教諭等との関わりの中で、愛されている実感をもち、保育教諭等への信頼感をもつ。 ・発声や喃語、手差し、指差し、身振りなどで気持ちや要求を保育教諭等に伝える。 ・物の名前や簡単な言葉が分かる。	・安定した保育教諭等との関係をもとに友達への関心が芽生え、関わろうとする。 ・自分でしたいやってみたい気持ちを膨らませ、いろいろなことをしようとする。	・好きな友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・友達との共感関係が広がり、他者と関わる心地よさを感じる。	・自己主張をし、保育教諭等に受け止められながら、相手の気持ちにも気付いていく。 ・簡単なルールのある遊びを楽しむ。	・友達との関係が深まり、共通の目的に向かって取り組む。 ・遊びや活動の中で自分の思いを出し意見の違いやトラブルを保育教諭等の力も借りながら解決しようとする。 ・ルールのある遊びを楽しむ。	・生活や遊びの中で友達を応援したり、みんなで力を合わせたりすることの大切さを知る。 ・互いの思いを出し合い物事を解決しようとする。 ・ルールを守って遊ぶ楽しさを知る。
	言　葉	①自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ②人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育教諭等や友達と心を通わせる。		・保育教諭等の言葉が分かり、態度や言葉で自分の思いを伝えようとする。 ・簡単な絵本を繰り返し楽しむ。	・自分の思いを言葉で伝えようとする。 ・簡単な会話ややりとりを楽しむ。 ・経験したことを言葉で表現しようとする。 ・絵本を楽しむ。	・自分の思ったことや感じたことを言葉で表現し、保育教諭等や友達とやりとりを楽しむ。 ・生活で必要な言葉を理解し、友達と言葉のやりとりを楽しむ。 ・簡単なストーリーのある絵本を楽しむ。	・生活や遊びに必要な言葉が分かり、自分の経験したことや考えたことを伝え合う。 ・語彙が豊かになり言葉でのやりとりを楽しむ。 ・言葉を聞いて考えて、行動をコントロールする。 ・絵本の世界を楽しむ。	・人の話を注意して聞き、相手の立場や気持ちに立って物事を考え、行動する。 ・絵本を見たり話を聞いたりする中で、言葉に対する感性を豊かにする。
	表　現	①いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 ②感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ③生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	【保育目標： 身近なものとの関わり感性が育つ】 ・身近な人や物に興味をもち、大人の模倣を楽しんだり、生活再現を楽しむ。 ・物を見たてたり、見た物を身ぶりで伝える。 ・安心できる環境の中で、五感を働かせ自然物や身の回りの物に自ら関わる。	・生活再現を大人と一緒に楽しむ。 ・見た物、触れた物を身ぶり表現して楽しむ。 ・簡単なお話の場面のごっこ遊びを大人や友達と楽しむ。 ・変化する素材に働きかけ、繰り返し楽しむ。 ・歌や手遊びなどに興味をもち、保育教諭等と一緒に楽しむ。	・生活再現やごっこ遊びを友達と楽しみ、お話の世界のごっこ遊びへと広げる。 ・見たこと経験したことを身ぶり表現して楽しむ。	・保育教諭等や友達と一緒に歌や手遊びを楽しむ。 ・保育教諭等や友達と一緒にごっこ遊びや身ぶり表現をみんなで楽しむ。	・共通のイメージをもって友達と遊ぶ楽しさを味わう。 ・楽しかったこと、経験したことをいろいろな形で表現する。	・自分の感じたことや思ったこと、想像したことをいろいろな方法で表現する。 ・友達と心を通わせ、一緒に表現する過程を楽しむとともに、感動する体験等を通じ、豊かな感性を育み、それを表現する意欲を高める。
	環　境	①身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。 ②身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ③身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。		・身近な環境に自ら関わろうとし、散歩に出かけて探索活動を楽しむ。 ・身近な遊具や生活用具に興味をもって関わりながら、道具を使っての遊びを楽しむ。	・季節の散歩を楽しむ。 ・身の回りの事物や自然、虫や小動物に興味をもつ。	・身近な自然に触れ、好奇心をもち、発見したことを友達や保育教諭等に伝える。	・身近な動植物に触れる。 ・身近な自然や事象に興味をもち、遊びや生活に取り入れる。	・様々な物事や自然に主体的に関わり、試したり発見したりしながら、工夫して遊ぶ。 ・生活の中で物の性質や数量、図形、文字、時間等に関心をもって関わる。

指導計画の作成	子どもがその時期にふさわしい生活が保障され、適切な指導が行われるよう調和のとれた組織的、発展的な指導計画を作成し、園児の活動に沿った柔軟な指導を実施する。 （1）具体的に作成すること。 （2）活動がそれぞれの時期にふさわしく展開されるよう園児が安定感を得て、馴染んでいくようにすること。 （3）様々な人や物との関わりを通して、多様な体験をし、心身の調和のとれた発達を促すようにしていくこと。 （4）長期の指導計画、短期の指導計画を作成し、適切な指導が行われるようにすること。 （5）一人一人が興味や欲求を十分に満足させるよう適切な援助を行うようにすること。 （6）子どもの人権や一人一人の個人差等に配慮した適切な指導を行うようにすること。 （7）創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにすること。	主な行事	・入園式、進級式　・保育参観　・プール、水遊び、お楽しみ会　・運動会　・音楽会 ・バス遠足、秋の遠足　・クリスマス会　・生活発表会　・卒園式、終業式、修了式
		教育・保育時間	・１号認定　（教育時間）９：００～１４：００　（預かり保育／アフター）１４：００～１８：００ ・２号、３号認定　（保育長時間）７：００～１８：００　（保育短時間）８：３０～１６：３０　（延長保育）１８：００～１９：００
		保護者・地域への支援	・園だより、ICT等を活用し、保護者への情報提供・共有を行い、連携を図る ・一時預かり事業　・園庭開放　・育児相談
		健康支援・保健計画	・身体測定（毎月）、保健だより ・内科健診、耳鼻科健診、眼科健診、歯科検診（年２回）
研修計画	・職員の資質向上のための研修への参加 ・教育委員会も関与した研修計画の立案	環境・衛生管理	・施設整備の清掃と消毒、玩具の整理と消毒 ・検尿検査、職員に対する検便検査（毎月）
自己評価	・保育教諭等の評価　・保護者アンケート ・第三者評価の受審	安全対策・事故防止 災害・避難訓練計画	・ヒヤリハット記録の共有　・遊具（屋外遊具含む）の点検 ・避難及び消火訓練（毎月）　・総合避難訓練
社会的責任	・児童福祉施設として、子育て家庭や地域に対し、認定こども園の役割を担う。	小学校との連携	・「架け橋プログラム」の推進と園域内施設（公民連携）で「幼児教育アドバイザー」を中心とした小学校接続を推進する。